

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和5年11月2日(木)
第22号

◆家庭教育学級◆

家庭教育学級が、8月30日(水)に行われました。本校専門医の医師より「親子で前向きに歩むための秘訣～医療の視点から～」というお話をいただきました。「日本の社会は、叱られることが多いので、生きづらく、自信を持ってない世界になっている。」という内容でした。

生徒の実態として

【自己肯定感が低い】

特別支援学校には「俺は、私は、ダメなんだ。」と思っている児童生徒が多い。
(原因)怒られたり、叱られたりする経験が多い。

(結果)社会に出てもうまくいかない。引きこもる。『生きる力』が定着しない。

【自己肯定感を高める】

(解決方法)

- ①できることをすることで達成感を持つ。できることを伸ばす。褒めると伸びる。
- ②日常生活の中で、役に立っていると感じさせる。(家事手伝いをして褒められる)
- ③子供が考え、選択したこと(自己選択・自己決定)を大切に、認める。
- ④子供が喜んで実行することが大切。その子供の能力に合わせる。
- ⑤失敗しても「OKだよ。」と伝え、安心して生活できる環境で子供を育てる。

◆PTA主催による企業・施設見学会◆

PTA主催による企業・施設見学として、9月20日(水)に『ワタキューセイモア株式会社』と『飛翔館』へ行ってきました。
『ワタキューセイモア株式会社』は、八幡東区前田にあり、本校の産業現場等における実習でも大変お世話になっている企業です。主



な仕事内容として、ホテルや病院などで使用するシーツやカバー類、寝具類、浴衣やガウン類などを貸与し、その後、貸与した商品を回収、洗濯仕上げ、補修、配送、在庫管理までを一括して行っています。
担当の方からは、「長く働いてもらえるように、本人の得意不得意を配慮した作業配置をしています。」というお話をいただきました。

『飛翔館』は、卒業後の自立へ向け、支援を受けながら生活能力向上を図ることができる障害福祉サービス事業所です。サービス形態としては、宿泊型自立訓練事業にあたります。
主な支援内容として施設内では、集団生活を通じて規則正しい生活リズムの習得(健康管理)をはじめ、適切な人間関係づくり、掃除・洗濯、金銭管理など自分でできることを増やしたり、生活などに関する相談、助言などの必要な支援を行ったりしています。

今回の施設見学を通して、仕事現場や生活の場としての居室などを実際に見て、保護者にとって、生徒たちの卒業後の具体的な生活イメージを持つことができたようでした。自立へ向けて、早い時期から計画的に利用を進め、少しでも『生きる力』を付けることができるといいですね。